



イオン新さっぽろ店のフラワー&ガーデンとリカー売場

株主の皆さまへ

人を大切に、地域を活性化し、
全員経営で北海道No.1の信頼される企業を目指します。



代表取締役社長
星野三郎

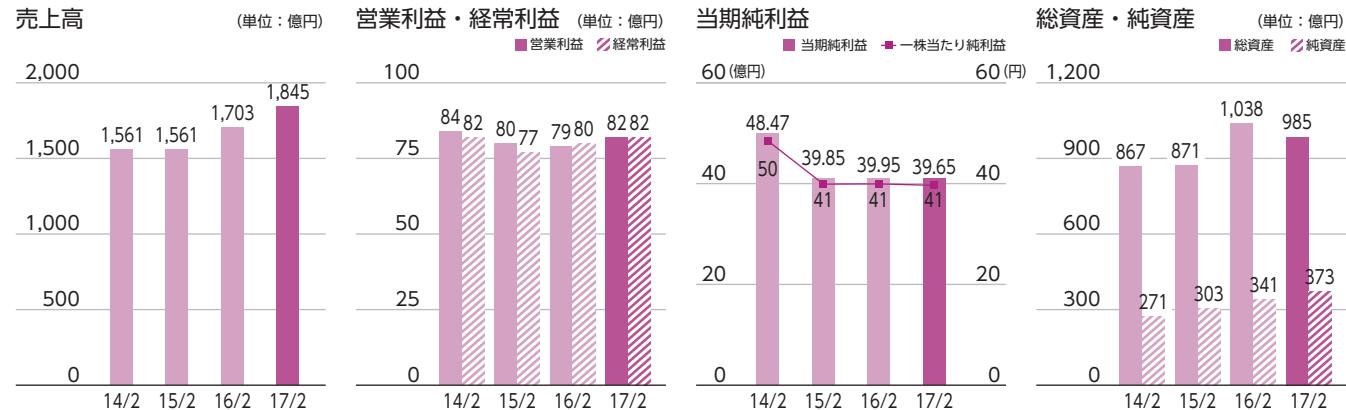
平素より当社経営に関しまして格別のご支援をいただき誠にありがとうございます。

「新生イオン北海道」の本格的なスタート年度となった当事業年度は、旧ダイエー店舗を中心に大型の活性化を実施しました。札幌エリアでは、2016年3月の札幌麻生店を皮切りに、6月に東札幌店、11月に新さっぽろ店と、地下鉄隣接の店舗の活性化を計画的に進め、地域のお客さまの期待に応える店づくりを行うことができました。

また、地域連携の取り組みとして、北海道で初めての地域共通ポイント機能が付いたご当地WAON「とまチョップWAON」の発行、利用額の一部が札幌市の観光事業に活用される「SAPPORO*雪ミクWAON」の発行を通して、地域とのより深い繋がりを持つことができました。

当社は「お客さまからの声を大切に」、地域の皆さまの豊かな暮らしづくりに貢献できる、「地域に根ざした店づくり」を進めています。これからも環境の変化に対応しながら、北海道と共に成長し、地域に貢献する企業を目指してまいります。株主の皆さまには引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト



決算のポイント

【売上動向】

- 売上高はダイエー事業承継効果により、企業計では前期比108.3%、既存店ベースでは99.8%となりました。
- 上期は記録的な多雨や台風の影響もあり、既存店売上高は前年同期比98.7%と苦戦しましたが、下期は活性化効果等により既存店売上高は前年同期比100.7%と伸長しました。また、前年下期より承継したダイエー店舗の下期の売上高は、前年同期比109.7%となり、売上拡大に大きく寄与しました。
- また、部門別売上高では、食品（既存店前期比102.3%）の好調に加え、靴やヘルス&ビューティーケアなど売場の「専門店化」をすすめる部門が伸長し、苦戦する衣料（既存店前期比97.9%）や住居余暇（既存店前期比96.9%）の売上をカバーしております。

【利益動向】

- 衣料、食品、住居余暇の3部門ともに、値入率、売価変更率の改善等により、売上総利益率の改善を図ることができました。
- 販売費及び一般管理費は、社会保険適用拡大等による人件費の増加や、販売促進費の増加により、既存店前期比101.3%と増加しましたが、売上総利益率の改善（+0.5ポイント）に加え、承継したダイエー事業の損益改善により、営業利益は3億28百万円の増益となりました。
- 経常利益は、営業外収益で1億26百万円減少、営業外費用で63百万円減少により、2億65百万円の増益となりました。

部門別売上高実績

(単位: 百万円)

	売上高	前期比	既存店前期比
衣料	36,129	4.3%増	2.1%減
食品	111,565	12.1%増	2.3%増
住居余暇	35,408	3.8%増	3.1%減

部門別売上総利益率

	売上総利益率	前期差
衣料	38.1%	+0.6ポイント
食品	24.3%	+0.5ポイント
住居余暇	27.1%	+0.6ポイント

2017年度見通し

- 引き続き活性化投資による魅力的な売場づくりに取り組むとともに、お客さまからのニーズの高い「ヘルス&ウェルネス」関連商品の拡大・強化により、売上高は前期比1.2%増の1,867億円の達成を目指します。
- 営業利益については、社会保険適用拡大等による人件費の増加や税制改正に伴う公租公課の増大などコスト増加要因はあるものの、ダイエー事業を含め収益性の低い事業の収益改善に取り組み、前期比1.7%増の84億円の営業利益を確保いたします。

売上高	1,867億円 (前期比1.2%増)
営業利益	84億円 (前期比1.7%増)
経常利益	81億円 (前期比2.0%減)
当期純利益	42億円 (前期比0.4%増)

過去最大規模の大型活性化投資を実施

当事業年度も店舗活性化による地域に合わせた店づくりをスピードを持ってすすめ、総投資額（修繕費等の経費を含む）は過去最大となる17.8億円を投下しました。そのおよそ半分を、ダイエーから承継した店舗に投下し、上期より集中的に活性化を実施しました。都市型ターミナル店舗のお客さまのニーズに合わせた品揃えと売場を実現することで、業績も好調に推移しています。また、既存店舗においては、各店舗のマーケットの検証を徹底的に行い、お客さまの支持の高いカテゴリーを更に強化するとともに、新たな商品と売場提案により、地域のお客さまの期待にお応えしました。今後も積極的な活性化をすすめ、より地域密着の店づくりをすすめていきます。



札幌麻生店



東札幌店



旭川西店

イオン北海道、イオンモール、札幌副都心開発公社の3社合同によるリニューアルの実施

2016年12月16日、イオン新さっぽろ店を活性化オープンしました。イオン新さっぽろ店は旧ダイエー店舗で、事業承継を契機に、新さっぽろ駅前の再開発として、グループ会社のイオンモールと札幌副都心開発公社と当社の3社合同による全館リニューアルが実現しました。老朽化が進んでいた複合商業施設が、売場だけでなく、ショッピングセンター全体の回遊性を改善するフロアゾーニングや共用環境の整備により、ターミナルに直結したショッピングセンターとしての利便性と魅力が蘇り、生まれ変わりました。今後も当社は、街づくりに深く関わりながら店舗の活性化をすすめていきます。



ご当地WAONを通じての地域連携

2017年2月13日、イオン北海道各店舗にて、札幌市のご当地WAON第2弾「SAPPORO*雪ミクWAON」を発売しました。当社は、2009年1月23日に札幌市と「さっぽろまちづくりパートナー協定」を締結し、魅力的なまちづくりに協働して取り組んでおり、「SAPPORO*雪ミクWAON」もその活動のひとつです。お客さまのご利用額の0.1%が札幌市が力をいれる観光振興に活用されます。今後も地域との連携を深め、お客さまと当社が協力して地域活性化活動を支え、地域に貢献する取り組みをすすめていきます。



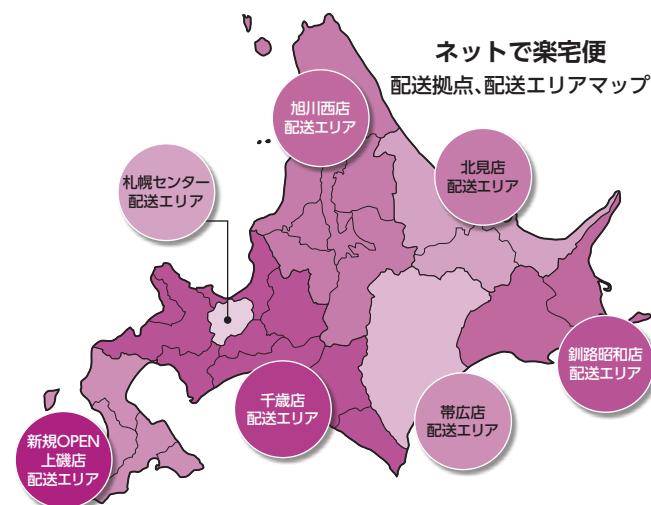
〈雪ミクについて〉

「雪ミク」は、北海道を応援するキャラクターです。2010年の『さっぽろ雪まつり』で“真っ白い「初音ミク」の雪像”を作ったことをきっかけに誕生し、それ以来「雪ミク」が主役のフェスティバル『SNOW MIKU』が毎年北海道で開催されております。

ネットスーパー全道カバー



2016年9月1日より新たに函館を中心に黒松内・寿都以南エリアの配送が始まりました。ダイエーから承継した上磯店を配送拠点として、配送エリアを拡大することで、全道即日配送（離島を除く）が完成しました。また、お買い物ページのリニューアル、電子マネーWAON決済の導入、WAONカード、イオンカードでのお支払いで5%割引となる「お客さま感謝デー」の導入など利便性の向上に努めました。今後もより利用しやすいネットスーパーを確立し、北海道においてなくてはならない買物手段として、更なる進化を図ってまいります。



株式の状況 (2017年2月28日現在)

発行可能株式総数	普通株式	132,000,000株
発行済株式総数	普通株式	106,211,086株 (自己株式698,228株含む)
単元株式数		100株
株主数	普通株式	42,117名

大株主 (2017年2月28日現在)

株主名	持株数	持株比率
	普通株式	
イオン株式会社	85,463,070株	81.0%
加藤産業株式会社	1,200,000株	1.1%
イオン北海道従業員持株会	985,592株	0.9%
株式会社北洋銀行	559,400株	0.5%
総合商研株式会社	421,800株	0.4%
イオンリテール株式会社	404,720株	0.4%
北海道コカ・コーラボトリング株式会社	380,000株	0.4%
東洋水産株式会社	319,500株	0.3%
モリリン株式会社	300,000株	0.3%
メリルリンチ日本証券株式会社	291,900株	0.3%

注:持株比率の算定は、自己株式(698,228株)を除外して計算しております。

株主優待 (2017年2月28日現在)

2月末日の株主名簿に記載された株主さまに、保有株式数に応じて株主様ご優待券を贈呈いたします。また500株以上保有の個人株主さまには、全国のイオングループ179店舗に開設している「イオンラウンジ」をご利用できる「株主さまカード」を発行いたします。

【株主様ご優待券の贈呈】

年1回100株以上保有の株主さまに優待券を贈呈します。

保有株式数	優待内容
100株 ~ 999株	100円券×25枚=2,500円分
1,000株 ~ 1,999株	100円券×50枚=5,000円分
2,000株以上	100円券×100枚=10,000円分

【イオンラウンジのご利用】

お買物の合間にごゆっくりとおくつろぎいただくために、ラウンジ会員さまに限定したサービスをご用意しております。全国のイオンラウンジ設置店舗にて株主さまカードをご提示のうえお気軽にご利用下さい。有効期限は発行後1年間とし、それぞれに記載されている期限とします。

【株主様ご優待券のご利用可能店舗】

株主様ご優待券は下記全国21社(※)が運営するイオン、マックスバリュ、イオンスーパーセンター、まいばすけっと、ザ・ビッグなどの直営店舗でご利用いただけます。

(※) イオンリテール(株)、イオンリテールストア(株)、イオン北海道(株)、イオン九州(株)、イオンストア九州(株)、イオン琉球(株)、イオンビッグ(株)、マックスバリュ北海道(株)、マックスバリュ東北(株)、マックスバリュ南東北(株)、マックスバリュ関東(株)、マックスバリュ東海(株)、マックスバリュ中部(株)、マックスバリュ長野(株)、マックスバリュ北陸(株)、マックスバリュ西日本(株)、マックスバリュ九州(株)、イオンスーパーセンター(株)、(株)光洋、まいばすけっと(株)、イオンマーケット(株)

但し、酒類、タバコ、切手、印紙、はがき、商品券、プリペイドカード、処方箋により販売する医薬品、その他各社の指定する商品の購入、ネットショップ等ではご利用できません。一部の店舗・売場でご利用いただけない場合がございます。また、専門店でのご利用はできません。

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月開催
基準日 定時株主総会 毎年2月末日
期末配当金 毎年2月末日
そのほか必要がある場合には、あらかじめ
公告いたします。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031
(インターネット
ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 当社ホームページに掲載いたします。
http://www.aeon-hokkaido.jp/finance_03.html